

令和5年度「京都市民健康づくり推進会議」
第1回「食育推進部会」「身体活動・運動推進部会」「口腔保健部会」摘録

＜開催日時＞

令和5年8月17日（木）午後1時45分～午後3時45分

＜開催場所・形式＞

Zoomによるオンライン開催

＜摘 録＞

1 開会挨拶 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室長

2 出席者紹介等 事務局

3 議 事 進行 身体活動・運動推進部会 部会長

(1) 市民の健康を取り巻く現状と課題について

報告・説明 事務局

- ・ 【資料4】 令和5年度「健康づくり・口腔・食育に関するアンケート」結果報告書案（部会版）
- ・ 【資料5】 現行計画における市民の健康づくりの状況を確認する数値

意見聴取等 ○機関・団体等 ◎部会長（食育推進部会、身体活動・運動推進部会、口腔保健部会）●事務局

◎部会長（口腔保健部会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の3箇年のアンケート結果から経年的な増減傾向を判断するのは難しいが、明らかに昭和の頃に比べて健康になっている。自分の健康は自分で責任を持つというものが根付いてきた。これは行政の努力もあると思う。ゆっくりではあるが、健康づくりが市民に私事となり、市民も患者も自分が主治医になる、といった意識が広がってきた。一方で、京都において、京料理についての認識が広がっていないのは、興味深い。
◎部会長（食育推進部会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20歳代女性のやせについては、全国的にもアプローチが難しく改善していない。今回の結果では、京都市でも同様の課題があると考え。コロナ禍であったことを踏まえると、他に大きく数値が悪化したところがなかったのはよかった。今後活動が増えると色々な面で取り組みが進んでいくのではないか。
○(一社)京都府歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科の歯周病の話、食育でのおいしく食べるという話、はお互いに関係するが、今までは結び付けたり比較したりできなかった。今回、3部会が一同に行われたことで、横断的な比較や取組がしやすくなったのではないか。
○学識経験者（同志社大学）	<ul style="list-style-type: none"> ・ BMIで、特にやせや肥満が増えたことが気になる。全国的にも同じではあるが、やせや肥満の増加傾向が続いていることは注視していく必要がある。

○市民公募委員	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果で『かかりつけ歯科が「ある」とした人が約8割』とあるが、個人的には低いように思われる。これは以前と比べて増えているのか、全国的にみてどうか、こういった評価をしているのか。
●事務局	<ul style="list-style-type: none"> この設問に関しては、今回新規追加した項目のため過去のアンケート結果との比較はできない。かかりつけ歯科があると約8割が回答している一方、「過去1年間で歯科健診に行きましたか」の設問では、歯科治療の方を含めても過去1年間で歯科を受診した方は6～7割で、多少差が見受けられる。恐らく、かかりつけ歯科の捉え方による違いもあると考えている。全国的な比較ができる数値はないが、今後のアンケート結果も踏まえて判断していきたい。
◎部会長（口腔保健部会）	<ul style="list-style-type: none"> 傾向としては、50歳以降の方は痛みを感じたら、50歳未満の方は発症や進行を抑えるために歯科を受診する。歯科受診の考え方が世代によって違う。「かかりつけ歯科をもつ人」を増やすことは、予防的な受診をする方を増やすことになる。欧米ではそれが常識。日本もそうなればと思う。
○（一社）京都府歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁が京都に移転し、京都の食文化についても認知度が上がってきている。また、京都市の給食はおいしいという話題もある。今回のアンケートには、「なんでもよく噛んで食べることができるか」といった設問があるが、更に一歩踏み込み「おいしく食べることができるか」という設問があってもいい。おいしく食べるためには何が必要かということも啓発していくべき。
●事務局	<ul style="list-style-type: none"> 口の健康を保つことでよりおいしく食べることに繋がるということは発信していかなければならない。また、食育・運動・口腔問わず、分野横断的に発信できたらと思う。
○（一社）京都府医師会	<ul style="list-style-type: none"> 肺がん検診（男性）の比較について。令和3年はコロナ禍で一番受診控えがあった年である。現在、京都府下では受診率がコロナ以前の水準までほぼ回復してきている。一方で、京都市は回復に至っていない。おそらく小学校での集団検診が再開されないのが主な理由だと考えている。また、前立腺がん検診の受診率が低下しているが、検診費の助成など変更点があったか。
●事務局	<ul style="list-style-type: none"> 肺がん検診については、御指摘のとおり。京都市国保の特定健診の集団健診と同時にやっている。集団健診については、特定健診所管課と医師会で今後の在り方を検討いただければと思う。それ以外の部分で、当課としても受診率向上に向けて検討したい。 前立腺がん検診について、自己負担額は特に変更していないため、コロナの

	影響が続いていると考えられる。
◎部会長 (身体活動・運動推進部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市と京都大学で、京都市のデータを分析しており、肺がん検診を受けた方が、がんを早期発見でき治療成果もよく、医療費も減少するといった結果が出ている。そのようなデータを活用し、健（検）診の受診勧奨をしていくことも必要である。
○（一社）京都府歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健（検）診をなぜ受けるのかという啓発が必要ではないか。歯科健（検）診含め受診控えが続いている。健診を受けないことのデメリットや、健（検）診を受ける意義をあらためて発信していく必要がある。様々健（検）診があるが、所管課や根拠法があるのはわかるが、まとめて周知はできないか。
●事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各健（検）診の意義は丁寧に発信していきたい。また、受診控えについても、健（検）診ごとに今後の状況を注視していく必要があると考えている。また、健（検）診をまとめて周知することについて、どういった対応ができるか検討していきたい。
○学識経験者（同志社大学）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市では「学区」ごとに活動がある。例えばOF I-8（オーラルフレイルに対する簡易スクリーニング質問票）など一般の方でも簡単にできるものを、学区の活動で実施してもらい、健（検）診を促すなど、学区を活用して啓発をしてはどうか。
●事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な地域組織があり、保健に関しては保健協議会がある。そこを通じた啓発等を検討していきたい。
◎部会長 (身体活動・運動推進部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果からはフレイルの認知度も不十分。そのあたりを分かりやすくし地域ネットワークで更に啓発し、健（検）診に繋げていくのも一つ。

(2) 次期計画「健康長寿・口腔健康・食育推進プラン（仮）」素案について

報告・説明 事務局

- ・ 【資料6-1】京都市「健康長寿・口腔健康・食育推進プラン（仮）」素案について
- ・ 【資料6-2】 〃 〃 概要版
- ・ 【資料6-3】 〃 〃 取組方針1の代表例イメージ
- ・ 【資料7】京都市「健康長寿・口腔健康・食育推進プラン（仮）」素案「第2章 現状と課題」補足資料（案）

意見聴取等 ○機関・団体等 ◎部会長（食育推進部会、身体活動・運動推進部会、口腔保健部会）●事務局

◎部会長（口腔保健部会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分野ごとの背景や考え方が異なるのかもしれないが、口腔の指標は口腔助教や疾患に関する数値が多くゴールがわかりやすく、他の分野は主観的な指標や
--------------	---

<p>◎部会長（食育推進部会）</p>	<p>活動数などの取組実績が多く、指標からどういった評価が難しいのではないかと感じる。今後、次期計画の指標をどのように設定されるのか期待している。</p>
<p>●事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国、府との連携をどのように進めていくかを伺いたい。また、合同部会でもあり様々な団体で協力し合うことが大切だと思う。そのつなぎ役は事務局がしてくれるのか。
<p>○学識経験者（同志社大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国からはこれまでに「健康日本21」をはじめ、各分野の次期計画案が出ており、それらを踏まえて本市の取組を進めていきたい。府については、今後策定される府の健康増進計画の方針や府民に対する調査結果の活用など、連携できる部分があれば検討していきたい。 本市では、御指摘いただいた連携を目的に、「健康長寿のまち・京都市民会議」を設置しており、幅広い団体等に御参加いただいている。この会議を通じて関係機関・団体、企業等との連携を進めていきたい。
<p>●事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画案では、健康寿命について国民生活基礎調査を基にした数字を示している。同調査では、「あなたは現在健康上の問題で日常生活に何か問題がありますか」という質問に対する回答をもとに、算出しており、回答者の主観的な感じ方に影響される。この指標を基にすると、京都市は女性で72.90歳であり、京都府が47都道府県最下位の73.68歳となる。 健康寿命の算出方法はいくつかあり、例えば要介護2の算定状況を基にした方法では、京都市は全国35位、HEAL（健康度調整平均寿命）という方法であれば8位となり、京都市の健康寿命は決して悪くない。 国民生活基礎調査を基にした京都市の健康寿命の数字が低い原因としては、京都市内は車生活中心の地域に比べ、同じような身体状況であっても、少し身体を悪くしたら不自由を感じやすい街なのではないか、などが考えられる。 これらのことから、今回、計画案で示している健康寿命の指標で、本当に健康を評価しているのか疑問。この指標のみで判断すると目標を誤る可能性があるため、補完的指標も考えていくべきではないか。
<p>○京都市域女性連合会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国民生活基礎調査を基にした健康寿命については、学術的にも概念や算出方法が確立され、国民の認知度も高いため、国も「健康日本21」において、引き続きこの指標を使用している。そのため、本市においても、この指標を外すことは難しいが、補完的な指標も交えて多角的に確認していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 女性会の会員は、80歳で24本くらいの歯がある方は多い。皆、外に出て、色々な活動をしている。ほとんどの会員がかかりつけ医・歯科医をもち、定期的に通院している。私たちが元気に活動していることで健康の重要性を示せる

	<p>と考えている。会員以外の方にどのように啓発していくかは課題。</p>
○(公社)京都府看護協会	<ul style="list-style-type: none"> 今回のプランは、ライフステージごとに施策があり、幅広く計画されている。若い女性のやせや壮年期男性の肥満などのデータを踏まえると、大学の保健管理や企業の産業保健も重要。大学や企業へ相談事業を行うのもよいのではないかと。
●事務局	<ul style="list-style-type: none"> 大学・企業との連携も重要と考える。ヘルシーキャンパス京都ネットワークや京都市と繋がりがある企業もあるため、連携して進めていきたい。
○ヘルシーキャンパス京都ネットワーク	<p>今回の結果から、若い女性にやせが増え、運動習慣も浸透していない、ことが窺える。我々は大学を起点として運動習慣を広げるために毎年ウォーキングチャレンジとして、歩く習慣や運動意識を高める取組をしている。そういった取組で貢献できればと思う。</p>
◎部会長 (身体活動・運動推進部会)	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングチャレンジでは、今年から京都市と連携して大学以外の方にも参加してもらおうと企画している。市民会議などでも情報共有したい。
○京都市 PTA 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> 京都市での中学校給食の全実施に向けて進めていきたい。
○(公社)京都市保育園連盟	<ul style="list-style-type: none"> 歯みがき習慣が十分でない家庭も多い。将来の健康に影響するということであり、保育園としても家庭と連携して子どものために取り組んでいきたい。
○(公社)京都市保育園連盟	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちに生きる力を与えることとして食育に取り組んできた。本日は、運動や口腔も含めて、幼い時からの食が豊かな身体を作り、高齢になっても健康でいられるといった視点から色々なことを学んだ。食べることは生きること、コロナ禍でも給食を作り続けてきた。これからもその大切さを伝えていきたい。
○(公社)京都市私立幼稚園協会	<ul style="list-style-type: none"> 現場経験としては、3歳の歯科健診ではむし歯のある子がいないのに就学前になると増えていく。甘いものなどを食べる、歯みがき習慣の有無、コロナ禍なども影響したかとは思いますが、当会でも本日の内容を周知したい。
○(一社)京都市老人クラブ連合会 (すこやかクラブ京都)	<ul style="list-style-type: none"> 当会では、健康づくり活動を行っている。「歩く」ことをテーマとしたところで言えば毎月ウォーキングを行い市内600～700人が参加する。市民が主役になるということに関しては一翼を担えると思う。
○(一社)京都市老人福祉施設協議会	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉施設内では、口腔衛生の観点で健(検)診や日々の指導をしている施設も多い。いつまでもおいしく食べるのが目標。おいしく食べるためには

	<p>口の健康が大切。施設に入所している人は要介護3～5がほとんどだが、動けなくても喋る・食べる意欲がある方が多いので、最後まで「食べる」ことに繋げていける活動をしていきたい。</p>
○ (特非) 日本料理アカデミー	<ul style="list-style-type: none"> 日本料理の関心度が下がっているのが残念。食への関心が広まると、健康にも気を付けようとなる。昨年、京料理が国の登録無形文化財になったが、それでも関心が低い。我々ももっと啓発する必要がある。食育についても教育委員会の協力で20年ほど啓発してきたが、まだまだ足りない。
○ (公社) 京都府栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> 資料6-3の図が分かりやすかった。栄養士会としてはバランスの良い食事を摂ることなどを伝えているが、口腔の健康が問題になるため、医師会や歯科医師会と連携を図りたい。大学生の献血時に栄養相談や栄養指導を行っており、コロナ禍でも続けていた。コロナ禍で各種イベントが中止になり、食育啓発の場が少なくなかった。新たに食育啓発の場を検討していきたい。
○ (一社) 京都府薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> 薬局は処方箋を持ってきて薬をもらうところと思われるが、京都市からも健康サポートの役割を強く求められている。健康サポート薬局としての取組を増やしていきたい。思い付きだが薬局に行く方も多と思うので、歯周病啓発リーフレットを薬局において配布するのはどうか。
◎部会長 (口腔保健部会)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔分野からは大変ありがたいご提案。歯科にリーフレットを置いても、すでに歯科受診をしている方が見る。予防の観点からは薬局においてももらうことは望ましい。
○ (一社) 京都府歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師会のアイディアは本会にとっても望ましい。別の会議ではあったが、医師会からがん検診のリーフレットを歯科に、歯科健(検)診のリーフレットを医科におくのはどうかと提案があったが、そういった連携はいいと思う。仲介してくれるところがあると、もっとスムーズに進むと感じる。 指標については、実態から外れていると感じるなら補完し、本質を把握することが大切。 口腔の計画部分については、大学生・働き世代と障害のある方の歯科診療体制に関する施策を更に進める必要があると思う。
●事務局	<ul style="list-style-type: none"> 大学生・働き世代の周知啓発に関しては力を入れていきたい。障害のある方の歯科診療体制に関しては、歯科医師会とも連携しつつ引き続き国への要望を行っていく。
○市民公募委員	<ul style="list-style-type: none"> 今回の出席にはとても意義があった。後期高齢者になってわかることもある。

	<p>心身ともに変化することを伝えていきたい。体験者の生の声を聴くことが大事。人や社会とつながることが大切。生きがいを持つことも心のケアになる。</p>
◎部会長（口腔保健部会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3部会でそれぞれ理解を深め、互いの分野の課題を補えるような活動が出来れば、京都市は更に健康都市になっていけると期待している。
◎部会長（食育推進部会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食育・口腔・運動全てが関連しあっているため、皆で高め合っていければ。
◎部会長 （身体活動・運動推進部会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3部会で情報共有し、様々な場を啓発や発信に活用ができそうであるとの意見もいただいた。京都市には上手く取りまとめていただき、健康長寿のまち・京都を一緒に実現できればと感じた。
●事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料8、資料9、資料10の紹介 ・ 9月13日開催の健康づくり推進会議の案内 ・ 次回の3部会合同部会は10月開催を予定

4 閉会挨拶 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室長